

ときわ会 常磐病院では、  
いわき市の医療連携の充実を図るべく、  
医療機関を始めとする様々な情報を  
定期的に発信して参ります。

地域連携だより

Vol.  
18

## ときわ会 常磐病院 救急科のご紹介

ときわ会 常磐病院ではいわき医療圏における1次・2次救急を担うべく、  
救急医療体制の充実を目指しています。



Emergency Department

## 救急科医師のご紹介

### 岩谷 昭美 IWAYA Akimi

ときわ会 常磐病院 救急センター長

### いわき市における救急の現状と常磐病院の取り組み

いわき市を核とした浜通り南部地域では、以前より中通り・会津地域に比べ救急医療の立ち遅れが顕著でした。更に2011年3月に発生した東日本大震災による家屋の倒壊や津波被害、そして原子力発電所の爆発事故による放射能汚染が原因となり、この地域における常勤の医師と医療機関の大幅な減少が大きな問題となっています。

当院ではこのような事態を少しでも改善するため急患室施設を改造し2015年5月に「救急センター」を開設しました。開設前は救急車搬送の受け入れが年間700人前後で推移していましたが、開設後は右肩上がりに伸びて昨年は約1,400人と2倍の数になりました。

命に関わる心筋梗塞や重症の外傷などの治療は、いわき市立総合磐城共立病院の救命救急センターに委ねることになります。当院で受け入れている患者様はそれより程度の軽い症状、例えばめまい症・熱中症・軽い脳卒中疑いや、交通事故・転倒などによる打撲傷・骨折などが多数を占めますが、当地域の皆様に安心して頂けるよう更なる救急医療体制の改善を目標に頑張っていこうと思います。



#### 【経歴】

昭和54年3月 岩手医科大学医学部麻酔科大学院 卒業  
昭和54年4月 岩手医科大学医学部麻酔科 副手  
昭和54年7月 岩手医科大学医学部麻酔科 助手  
昭和55年4月 八戸日本赤十字病院麻酔科 部長  
昭和55年10月 防衛医科大学校病院救急部 助手  
平成6年6月 防衛医科大学校病院救急部 講師  
平成8年1月 いわき市立総合磐城共立病院 救急救命科部長  
平成12年10月 公立置賜総合病院 救命救急センター長  
平成14年5月 山形大学医学部臨床教授 兼任  
平成27年4月 ときわ会常磐病院 救急センター長

#### 【資格】

日本救急医学会 専門医  
日本臨床救急医学会  
日本麻酔学会  
日本集中治療医学会  
日本外傷学会  
日本熱傷学会  
日本集団災害医学会  
日本職業・災害医学会  
日本中毒学会  
日本DMAT隊員 統括DMAT

# 常磐病院 救急センターの取り組み

ときわ会 常磐病院として開院した平成22年4月よりいわき地区の二次救急医療機関として、地域の皆様が安心していわき市で生活できますよう救急患者の受け入れを行っています。  
今回は常磐病院 救急センターの活動をご紹介します。



## ● チーム医療体制の構築

常磐病院への救急搬送患者や収容依頼患者数は年々増加しており、この状況に対応し更に受け入れが行えるよう特にいわき地区二次輪番日において、放射線科の24時間対応や薬剤部・検査課・臨床工学課等の連携を充実させ支援体制を整備することで、より良い医療を提供できるよう取り組んでいます。

## ● スタッフの研修・教育

全職員を対象とした心肺蘇生法(BLS)研修を実施、また更に高度な蘇生治療法のICLS、重症外傷に対する緊急処置法のJPTECなど、スタッフのレベルアップを目指した職員研修・教育活動を行っています。



## ● 地域における活動

「いわきサンシャインマラソン」や「福島ホープス」の試合における看護師の派遣活動を行っています。また昨年は、いわき市四倉海岸にて県内のサーファーを対象としたBLS講習や救護訓練をいわき市役所・いわき消防署・海上保安庁等の関係機関と合同で開催し、約100名のサーファーが集まり熱心に受講しました。

常磐病院の救急センターではいわき市の救急医療を支えるため、地域の皆様が家族であるという、ときわ会の理念「一山一家」の下、職員一同練磨していきます。



ときわ会常磐病院では、医師の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。  
患者様のご紹介に関しまして、今後お気軽にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

## 公益財団法人ときわ会 常磐病院（院長 新村浩明） 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00※土曜日は電話対応のみ  
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地  
TEL:0246-43-7399 / FAX:0246-43-7000